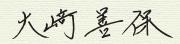


TOP MESSAGE

代表取締役社長



主の皆様には平素より格別のご 高配を賜りまして、厚く御礼を申 し上げます。当期も売上が順調に推移し、 ここに事業報告をすることができました。 これもひとえに、株主の皆様のご理解、ご 支援の賜物と、重ねて心より御礼を申し 上げます。

食品関連業界におきましても、消費者 の節約志向は依然として根強く、かつ人 手不足の深刻化や物流コスト上昇、7月 以降の天候不順や自然災害の影響によ り、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、 営業部門を強化し、メニュー提案・産地提 案等の営業活動に注力いたしました。加 えて、物流子会社エフエスロジスティック ス株式会社の流涌インフラ、デリカフー ズ株式会社の「埼玉FSセンター|「中京 FSセンター | における青果物の低温貯蔵 機能及び最新の生産設備等をお客様に 高くご評価いただいたこと、人手不足の 深刻化に伴いカット野菜・真空加熱野菜 の需要が増加したこと等により、新規顧 客の獲得及び既存取引の深耕が順調に 進展いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間 における売上高は20.429百万円(前年 同四半期比5.0%増)となりました。

利益につきましては、デリカフーズ株 式会社愛知事業所のカット野菜工場改修 に伴う消耗品費等の立ち上げ費用の発 生及び減価償却費の増加に加え、人手不 足・最低賃金上昇に伴う労働コストの上 昇、天候不順による野菜の調達価格の高 騰等がありましたが、売上の伸長、低温 貯蔵機能を活用した戦略的な購買の実 施、野菜入荷時の検品や在庫管理の強化 等により、営業利益は342百万円(前年 同四半期比45.0%増)、経常利益は373 百万円(前年同四半期比35.6%增)、親 会社株主に帰属する四半期純利益は 233百万円(前年同四半期比58.7%增) となりました。

今後もグループー丸となった営業活動 を行うことで、さらなる企業価値向上に 努めてまいりますので、株主の皆様にお かれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻 を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績の概況

第2四半期連結累計期間の 売上高としては、過去最高を 計上いたしました。

新規顧客の獲得、既存顧客の深耕を目的とした営業活動や、埼玉 FSセンター、中京FSセンターに備わる青果物の低温貯蔵機能の活用 などにより、第2四半期連結累計期間の売上高は過去最高となりまし た。利益につきましては、最低賃金上昇や、自然災害多発の影響を受 けましたが、戦略的な購買の実施、野菜入荷時の検品、在庫管理の強 化などにより、営業利益、経営利益および親会社株主に帰属する四半 期純利益は前年同四半期に比べ増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績

20,429 百万円

営業利益

342百万円 (前年同四半期比45.0%增)

経常利益

373百万円 (前年同四半期比35.6%增)

親会社株主に帰属する 四半期純利益

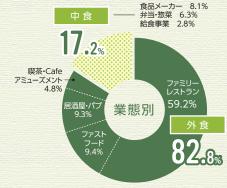
233百万円 (前年同四半期比58.7%增)

1 株 当 た り 四半期純利益 15.86_m

販売構成比



加丁していない野菜そのものをホール野 菜、お客様のご要望に合わせて加工されたも のをカット野菜といいます。また、第三の基軸 商品として展開している真空加熱野菜もカッ ト野菜に分類されます。



外食・中食と大きく分けて2つの業態があ り、全体の8割以上が外食業界に向けた売 上となっております。

※ファミリーレストランには、イタリア料理、中華料 理、和食等の業態も含まれております。

取締役のご紹介

取締役(未来開発最高役員)



にわ ますみ 丹羽 真清

デザイナーフーズ株式会社 代表取締役社長 兼任

取締役



小林 憲司

デリカフーズ株式会社 取締役社長 兼任

社外取締役



おざき ひろゆき 尾崎 弘之

社外取締役



しばた みすず 柴田 美鈴

取締役会長



たちもと いさたけ 舘本 勲武



エア・ウォーター株式会社と業務提携

多彩な事業を展開し、社会や人々の暮らしに貢献する

エア・ウォーター株式会社と、農業・食品関連事業での業務提携をいたしました。 ここでは、同社の沿革や特徴、提携内容を紹介します。

AIR WATER INC.

業務提携先のエア・ウォーター株式会社とは、どんな会社?

産業ガス・医療用ガスから始まり、ケミカル、エネルギー、農業・食品、物流、海水と事業を拡大

創業以来、「かけがえのない地球の資源を活かして事業を 創出し、社会や人々の暮らしに貢献していくことをモットー に、独自の経営戦略とM&Aを用いた経営手法で成長を続け てきた会社です。全国8地域の事業基盤と、約260社以上の グループ会社からなる多様性を大きな強みとし、日々の暮ら しや産業に欠かせない役割を担っています。



創業 1929年9月24日

本 社 大阪市中央区南船場2丁目12番8号 エア・ウォータービル

従業員 連結 15,757名/単体 856名

売 上高 連結 8.015億円

単体 1.774億円

関連事業

エア・ウォーター株式会社 8つの事業領域

産業ガス 関連事業 ケミカル

産業ガス、ガス製 電子材料、医農薬 医療用ガス、医療機 LPガス、灯油、天 冷凍食品、ハム・ 物流サービス、倉 塩、吸着剤、水処 エアゾール、情報 リケーション、産 材、有機酸、キノン 病院サービス、在宅 連機器、LNG関連 ツ、果実・野菜系飲 ビス、特殊車両 力、マグネシア化 面処理、ゴムOリ

アリング

材料、注射針、歯科

関連事業

エネルギー 関連事業

農業·食品 関連事業

料、農産品、農産加 製造

工品、農業機械

物流

関連事業

然ガス、LPガス関 ソーセージ、スイー 庫・流通加工サー 理、海苔製品、電 電子材料、金属表

その他の 事業

※2019年6月26日現在

ング、建築材料、 バイオマス発電

Business alliance details

農業・食品関連事業での業務提携



エア・ウォーター株式会社の農業・食品関連事業

農業・食品関連事業売り上げは全体の17%を占める

液体窒素を使った冷凍農産物の製造・販売をきっかけに食品事業を開始しました。2002年には、ハム・ ソーセージ事業に着手し、その後、農業、青果物流通加丁・小売、果実・野菜飲料製造、スイーツの製造販売な ど、事業を拡大していきました。栽培・調達から製造・加工・販売までをグループ内で一貫して展開しており、 唯一無二のバリューチェーンを構築しています。 ※2019年3月期(日本基準)

PICK UP

農地所有適格法人㈱エア・ウォーター農園を設立、生鮮野菜の栽培をスタート

2009年に㈱エア・ウォーター農園を設立し、農業事業に本格参入しました。国内最大級のガラスハウスを備えた「千 歳農場」と、北アルプスに囲まれた「安曇野菜園」の2箇所で、トマトやレタスを栽培しています。温室内に炭酸ガスを 供給する仕組みや、生育環境をコントロールするシステムを用い、高品質野菜の安定供給を実現しています。



| デリカフーズグループとの提携

原料調達の協業



生産農家の減少や、異常気象の 頻発により、原料野菜の調達先確 保が重要になっています。両社の 契約農家、調達ルートを共有し 原料調達をスムーズに行います。

インフラ事業の協業



全国各地に広がる両社の物流 ネットワーク、拠点・施設を活用し たインフラ事業の協業により、高 品質な青果物の、広い地域への 安定供給を実現いたします。

外食·中食産業拡大



デリカフーズのカット野菜・加熱 野菜、エア・ウォーターの冷凍野 菜を相互販売し、両社の外食・中 食産業への販売拡大につなげて まいります。

共同研究·共同開発



青果物の価値創造、加工・鮮度保 持技術などに関する、共同研究お よび共同開発を行うことで、青果 物の新たな魅力を探り、価値向上 につなげてまいります。



デリカフーズの インフラ整備

デリカフーズグループでは、 全国に新鮮な青果物を届けるため、 インフラ整備に力を入れております。 各地に広がる拠点や、FSセンターの つながりを最大限活用し、今後も、 お客様のニーズに対応してまいります。



Company initiatives

エフエスロジスティックス(株)の取り組み

■事業領域拡大に向け、2020年に九州営業所を設立予定

エフエスロジスティックス(株)は、2014年 にデリカフーズグループの物流を担う会社 として設立されました。設立時から従業員 数、車両台数は毎年増加しており、規模を拡 大し続けています。2020年には九州営業 所を開設し、関東から九州までの幹線便を 結ぶ見込みです。今後も、青果物の安定供 給に向け邁進してまいります。

【従業員数とトラック台数の推移】



'15/3 '16/3 '17/3 '18/3 '19/3 '19/9

エフエスロジスティックス(株)では、2018年12 月に東京営業所で安全性優良事業所認定(G マーク)を獲得いたしました。Gマークとは、荷 主企業がより安全性の高いトラック運送事業者 を選びやすくすることを目的に、全日本トラック 協会が交付する資格です。今後は他営業所で も獲得を目指し、事業全体の安全性を向上させ てまいります。



New construction

デリカフーズ(株) 九州FSセンター

■グループの総力を結集したFSセンター

2020年3月31日を竣工予定とし、福岡県宗像市に、全国で 17か所目の直営拠点となる、九州FSセンター(仮称)を建設し ております。新工場では、青果物の入荷からお客様のもとへ 届くまで、すべての作業が4℃以下で行われる「スーパーコー ルドチェーン」や、オートメーション化による省人製造ラインな ど、グループで培った技術やノウハウを活かした、設備・システ ムを導入する予定です。九州エリアでの事業拡大を図るとと もに、今まで以上に高品質で安全・安心な商品の提供を目指 してまいります。



建設中の様子

Company expansion

デリカフーズ北海道株式会社

営業面・購買面の強化で、新たな利益を創出

北海道札幌市に本社を置く㈱大藤大久保商店の全株式を取得し、 100%孫会社化いたしました。それに伴い、11月1日より同社の社名 を「デリカフーズ北海道株式会社」に変更いたしました。

同社は、1962年の設立以来、札幌市および近郊エリアにおける 外食・中食産業などで、多くの青果物の納入実績を持ち、信頼を得て いる会社です。これまで、パートナー企業として青果物の納入を行っ ていましたが、孫会社化により、営業面や購買面にてシナジー効果 を発揮し、新たな利益創出に寄与いたします。



デリカフーズ北海道㈱



九州FSセンター(仮称) ※2020年3月31日竣工予定

> 九州営業所 ※2020年開設予定





DELICA FOODS IR TIMES

デリカフーズホールディングス 2019年9月1日より普通株式を分割

例)分割前に株を100株保有している場合(株価:8,000円)



100枚 80万円

1株あたりの価格

8,000円

200枚 80万円

1株あたりの価格 4,000円

そもそも株式分割とは?

株式を分割し、市場に流通する株数を増やすことです。例えば、 1株を2株に分割した場合、流通数は2倍に。1株を3株に分割した 場合は3倍になります。個人の資産額は変わりませんが、流通数が 増え、単元株価格が下がるため、売買が盛んになり流動性が高ま ります。また、NISA(少額投資非課税制度)の対象になることもあ ります。

株式分割 の メリット

単元株価格が下がり買いやすくなる

分割して単元株価格が下がり、少ない金額で株が買えるように なります。これにより、市場参加者の増加が期待できます。

保有株の数量が増えることで売りやすくなる

半分だけ売り、その分を別の銘柄に投資することも可能になります。 保有株が増えることで、投資家の方の売却時の自由度が高まります。

当社普通株式を2019年9月1日をもって分割

当社は、2019年8月13日開催の取締役会において、2019年9月1日 付をもって当社普通株式1株を2株に分割することを決議いたしました。

お知らせ及びご注意

- 1. 株式分割後のご所有株式に関するご案内は、2019年9月下旬にお届けのご住所に お送りしております。
- 2.2019年9月1日付にて、株式分割により増加した株式数が、お取引口座のある証券会社 または特別□座を管理する□座管理機関の振替□座簿に記載されることとなります。
- 3. 住所変更、改姓名などの各種手続きは、お取引口座のある証券会社などでお手続きを お願いいたします。



普通株式の分割に伴い、株主優待を変更いたしました。主な変更点は、保有株式数ごとの 優待内容の細分化、優待内容の候補においてジェフグルメカードからクオカードへの変更、 長期保有優遇株主優待の対象条件・内容の変更、となっております。



保有株式数	優待内容
100株以上200株未満	500円分のクオカード
200株以上300株未満	1,000円相当のこだわり野菜の詰合せ または1,000円分のクオカード
300株以上400株未満	1,500円相当のこだわり野菜・果物の詰合せ または1,500円分のクオカード
400株以上500株未満	2,000円相当のこだわり野菜·果物·加工品の詰合せ または2,000円分のクオカード
500株以上1,000株未満	3,000円相当のこだわり野菜·果物·加工品の詰合せまたは3,000円分のクオカード
1,000株以上	5,000円相当のこだわり野菜・高級果物の詰合せ または5,000円分のクオカード

対象条件	対象長期優遇優待の内容
3年以上継続して 2,000株以上 4,000株未満保有	通常の株主様優待に加え、2,000円相当の野菜・果物を使用した加工品を贈呈。
3年以上継続して 4,000株以上保有	通常の株主様優待に加え、4,000円相当の野菜・果物を使用した加工品を贈呈。

PIICKUP Webで株主優待をお申し込みいただいた方限定で、当グループの工場見学会を行います!

株主優待のWeb申込専用サイトを開設い たしました。Web申込特典として、抽選で約 40名の方を工場見学会にご招待いたしま す。当日は工場の見学に加え、商品の試食会 も実施いたします。ご興味をお持ちの方は、 ぜひお申し込みください。

見学会概要(予定)

主優待が変わ

ま

開催日:2020年2月27日(木)

14:00~

会場:デリカフーズ(株)東京事業所

東京都足立区六町4-12-12

参加人数:約40名(申込多数の場合抽選となります







CSR活動状況

▶CO²削減のとりくみ

デリカフーズ㈱では、環境大臣から二酸化炭素 排出抑制対策事業費等補助金を受け、CO2削減に 取り組んでおります。「排水未利用冷熱を活用した 温度差エネルギー冷却システム導入事業」では、エ 場内から排出される水の冷熱を利用し、チラー(液 体を冷やす装置)にかける電力を減らすことで、省 エネ化やコスト削減を実現しています。当事業によ る平成30年度のCO2削減量は、神奈川事業所で 95.16トン、東京FSセンターで76.57トンの、合計 171.73トンとなりました。今後は、他工場へのシス テム導入を行うことで、さらなるCO2削減に寄与で きると考えております。





······················· CO2排出 1キロってどのくらい? ···················



自動車で3.6km 走った時の排気量



テレビを20時間 見続けた時



エアコンを4時間 使用した時



▶ 「朝市 | で地域に貢献

デリカフーズ㈱では、3か月に1度、地域貢献活 動の一環として「朝市」を開催しております。会場 は主に、当社の駐車場や地域の公園で、入社 1~3年目の若手社員が中心となり、野菜の調達か ら、集客のためのビラ配り、当日の店頭販売や会 計まで、すべての工程を自分たちの手で行なって います。

また、地元の商店会の方々と協力し、地域イベ ントのひとつとして出店することもあります。旬の 野菜をお値打ち価格で販売しているということも あり、毎回、多くの地域住民の方に足を運んでい ただいております。売上金は地元自治体に全額寄 付しており、地域の発展に奉仕しております。









アスリート応援

デリカフーズ(株)西東京事業所の製造部で働く、舩見 真奈さん は、アーチェリー競技でのオリンピック日本代表を目指し、日々、練 習に励んでいます。2018年5月に行われた「第47回全日本フィー ルドアーチェリー選手権大会(リカーブ女子)」では優勝を果たしま した。デリカフーズグループでは、ユニフォームの提供などを行い、 全力で応援しています。





現在、衛生品質トレーナーとして働いています(左写真/下段中央)。

┢️ ウェルネスフードジャパン 講演

自然食品・健康食品・サプリメント・健康食品素材に関する日本最 大級の専門展、「ウェルネスフードジャパン」が7月3日から3日間、開 催されました。デリカフーズグループが全国の生産者の方々ととも に、野菜の新たな価値の創出に取り組む「Farm to Wellness倶楽 部」も、同イベントで2日間にわたり講演を行いました。野菜の分析や 食品表示の話に、多くの参加者が耳を傾けてくださり、青果物業界 の価値向上に貢献できました。



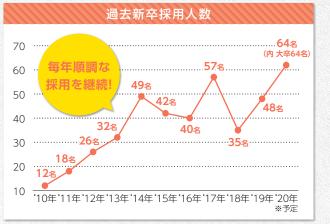


デザイナーフーズ㈱と㈱メディカル青果物研究所で参加いたしました。

₩ 新卒採用

デリカフーズグループでは、卒業した大学や学部ではなく、「人」 としての魅力を評価する新卒採用を行っております。会社説明会で は、代表取締役社長の大崎が自ら登壇し、今後の展望や就活生へ のメッセージを送っています。売り手市場と言われる中でも、毎年 順調に採用数を伸ばしており、グループの発展に貢献しています。





青果物の新たな価値を創造し、「野菜の生産者」と「食の提供者」をつなぐ青果物専門商社

デリカフーズグループについて

デリカフーズグループ全国拠点

デリカフーズホールディングス㈱

デザイナーフーズ(株)

「野菜ビジネスで日本の健康 寿命を延ばす」ことを目的と して、野菜の機能性研究や、 食に関わる企業様のコンサ ルティング、生命食セミナー などを行っています。

㈱メディカル 青果物研究所

全国の生産者から青果、食品 全般の検体を受付け、受託分 析を実施。分析結果により野 菜の中身を見える化し付加 価値を付ける事で、農業の発 展に貢献しています。

デリカフーズ(株)

全国から調達した野菜を加工 し、鮮度を保ったまま国内約 28,000店舗にお届け。高い カット技術・パッケージ技術を 持つ加工工場は、食品安全に も細心の注意を払っています。

エフエス ロジスティックス(株)

スーパーコールドチェーンを 実現するために、全国に広が るチルド配送網を活かして毎 日新鮮な野菜をお届けして います。

安心・安全な野菜を日本全国にお届けしています。



11

決算レポート (第17期 中間事業報告 要旨)

四半期連結財務諸表と当四半期決算のポイントについてご説明します。

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

		7-12-113
科目	第16期 前連結会計年度 (2019年3月31日)	第17期 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
■資産の部		
流動資産	8,310,312	8,683,790
固定資産 ①	11,496,893	12,626,025
資産合計	19,807,206	21,309,815
■負債の部		
流動負債	5,146,414	5,209,066
固定負債 2	6,813,350	8,128,739
負債合計	11,959,764	13,337,806
■純資産の部		
株主資本	7,718,003	7,838,807
その他の包括利益累計額	129,438	133,202
純資産合計	7,847,441	7,972,009
負債純資産合計	19,807,206	21,309,815

四半期連結損益計算書(要旨)

単位:千円

科目	第16期 前第2四半期連結累計期間 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	第17期 当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
売上高	19,460,114	20,429,099
売上原価	14,994,401	15,758,574
売上総利益	4,465,712	4,670,524
販売費及び一般管理費	4,229,816	4,328,523
営業利益	235,896	342,001
営業外収益	54,041	48,313
営業外費用	14,642	16,907
経常利益	275,295	373,406
特別利益	1,872	175
特別損失	44,068	13,106
税金等調整前四半期純利益	233,099	360,475
法人税、住民税及び事業税	85,718	126,602
親会社株主に帰属する 四半期純利益	147,380	233,872

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:千円

科目	第16期 前第2四半期連結累計期間 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	第17期 当第2四半期連結累計期間 自2019年4月 1日 至2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,395	1,059,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△859,642	△1,503,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,053	1,159,973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△760,301	716,239
現金及び現金同等物の期首残高	3,921,759	2,850,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,161,458	3,566,779

	第16期 前第2四半期連結累計期間 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	第17期 当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益(円)	10.00	15.86
1株当たり純資産(円)	512.80	540.35
自己資本(百万円)	7,562	7,972
自己資本比率(%)	39.2	37.4

当社は2019年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産、1株当たり四半期純利益を算定しております。

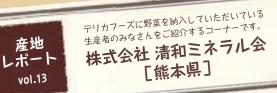
決算数値 POINT

♥ 固定資産

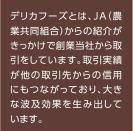
固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、12,626 百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が585百万円、 機械装置及び運搬具が229百万円、土地が163百万円、建物及 び構築物が138百万円増加したことなどによります。

2 因定負債

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 19.3%増加し、8,128百万円となりました。 これは、主として長期借入金が1,257百万 円増加したことなどによります。



まを納入していただい。 をご紹介するコーナーです。 清和ミネラル会 能本県]



"安心安全"な生産のため有機農業にこだわり、さまざまな害虫対策や土づくりを実施。

標高500~700メートルに位置する、熊本県上益城郡山都町。清和ミネラル会は、準高冷地に属するこの地でベビーリーフを主とした野菜の栽培を行っています。創業は1998年。有機農業に将来性を感じたことと、軽量野菜の負担の少なさから長く続けていけると考え、当時あまり世間に浸透していなかったベビーリーフの栽培をいち早く始めました。

栄養価の高い新鮮なベビーリーフを生産するためのこだわりは3つ。1つ目は栽培計画です。栄養価が詰まった野菜を1年中提供するため、栽培計画を立て季節に合わせた品種を選定しています。2つ目は害虫対策。太陽熱利用に

よる土壌消毒を実施しています。過去に、1件の虫の混入により、とある取引先を失ってしまったことから、害虫対策は特に意識し安全な生産を徹底しています。3つ目は土づくりで、土着菌に着目した堆肥を利用しています。火山灰や長雨、台風など自然環境による影響も多いこの地域で、いかに安定した生産ができるかを考え、ベビーリーフが育ちやすい環境づくりを心がけています。

順調に育てて収穫をしたとき、また、口にしたお客様から 美味しいと評価していただいたときに、大きなやりがいを 感じます。これからもお客様が必要としている品質を追求 し、期待に応えられるよう精進していきます。

会社概要

2019年9月30日現在

デリカフーズホールディングス株式会社 商号 英文社名 DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

設 立 平成 15 年 4 月 1 日 創業 昭和54年10月6日

所在地 T121-0073

東京都足立区六町四丁月 12 番 12 号

資本金 1.377.113 千円

549 名 (他、平均臨時雇用者数 1.831 名) 従業員数(連結)

役 員

社外取締役 尾崎 弘之 代表取締役社長 大崎 善保 社外取締役 柴田 美鈴 取締役(未来開発最高役員) 丹羽 真清 取締役 小林 憲司 常勤監査役 野村 五郎 社外監査役 森田 雅也 取締役会長 舘本 勲武 三島 宏太 社外監査役

会計監査人 仰星監査法人

株式状況

登行洛株式総数

2019年9月30日現在

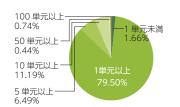
光1] /月休八祝女	14,072,000 休
株主総数	12,693 名
大株主	
舘本 篤志	2,038,400 株
舘本 勲武	1,900,600 株
日本トラスティ・サービ	^ス 1,248,500 株
日本マスタートラスト 信託銀行㈱(信託口)	404,100 株
大﨑 善保	261,800 株
丹羽 真清	204,600 株
野村 五郎	198,800 株
岡本 髙宏	174,000 株
株式会社 クローバフ	ォー168,000 株
デリカフーズグループ 従業員持株会	160,400 株

14 872 000 株



[所有株式数別分布状況]

[株主分布状況]



株主メモ

4月1日~翌年3月31日 事業年度

期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日 定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱 UFJ 信託銀行株式会社

同連絡先 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町 1-1

TEL.0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 株式会社東京証券取引所 (証券コード 3392)

公告の方法 電子公告により行う

> 公告掲載 URL https://www.delica.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他やむ を得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いた

します。)

【ご注意】

上場証券取引所

- 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設され ている口座管理機構(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証 券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い できませんのでご注意ください。
- 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

デリカフーズホールディングス株式会社 **DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.**

〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号



デリカフーズ

https://www.delica.co.jp/

【お問い合わせ】TEL 03(3858)1037 FAX 03(5851)1056



本事業報告書は、地球環境への負担を低減させる ために、FSC®認証紙と、大豆油などをリサイクルし て作られたベジタブルインクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。